

令和5年度佐賀市農業委員会通常総会議事録

日 時 令和6年3月22日(金) 午後4時00分～午後4時42分

場 所 四季彩ホテル千代田館 2階 ルビーホール

出 欠 者 出席者 22名 欠席者 1名

次 第 1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 総会成立宣言

5 農業委員会憲章の唱和

6 議事録署名人の指名

7 議 事

第1号議案 令和5年度事業報告について

(1)活動状況報告

(2)役員会事業報告

(3)総会等事業報告

(4)グループ活動報告

第2号議案 佐賀市農業委員会農地利用最適化推進委員の
選任について

8 閉 会

午後 4 時00分 開会

○司会（井手野修万君）

皆様こんにちは。それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和5年度佐賀市農業委員会通常総会を始めさせていただきます。

本日の司会を務めます井手野と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それではここで、本日の出席者数について御報告いたします。

農業委員23名のうち22名の出席をいただいております。

また、農地利用最適化推進委員につきましては、39名のうち33名出席いただいております。

皆様、お忙しい中に本総会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

ここで皆様にお願いがございます。

携帯電話につきましては、マナーモードにさせていただきますようよろしく願いいたします。

1 開 会

○司会（井手野修万君）

それでは、通常総会を始めさせていただきます。

まず、開会に当たり、大園会長が御挨拶を申し上げます。

2 会長挨拶

○会長（大園敏明君）

皆様こんにちは。本日ここに令和5年度佐賀市農業委員会通常総会を開催するに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様方には、日頃から農業委員会活動に御尽力を賜り、誠にありがとうございます。

また、本日は御多忙の中にもかかわらず、本総会に出席していただきまして誠にありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、今年度は、昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、ようやく農業委員会の活動も本来の形に戻ったと思っていた矢先、7月豪雨が市北部、特に富士、三瀬を襲い、農地、農業用施設が被災し、今もなお、災害復旧工事が思うように進んでいないと聞いております。一日も早く復旧されることを願うばかりでございます。

また、農業委員会として、地域計画の策定における目標地図の素案作成について、農地所有者へ10年後を見据えた農地の意向調査を実施したところでございます。

今後、農地所有者の意向を反映し、データ入力後、市長部局へその結果をお渡しすることとしております。

このような中、皆様方におかれましては、農業委員、農地利用最適化推進委員として農家の声に耳を傾けながら、昼夜を問わず農業委員会活動に努めていただきましたことに対し、心からお礼申し上げます。

委員の皆様方は、この3年間、様々な御苦勞もあったことと思います。特に3月末をもって退任される方につきましては、3年間本当にありがとうございました。お疲れ様でございました。

そして、4月には新体制がスタートいたします。再任される方は、日々の活動の中で見えてきた反省点等を活かしていただき、これまで以上に佐賀市農業委員会が一丸となって頑張ってくださいよう期待しております。

さて、本日は、令和5年度の事業報告及び新しい農地利用最適化推進委員の選任を承認するための会議でございます。限られた時間ではございますが、十分な御審議を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。私からの挨拶といたします。

本日は、よろしくお願いいたします。

○司会（井手野修万君）

大園会長ありがとうございました。

それではここで、公務御多忙の中に、本日の通常総会に御臨席をいただきました来賓の御紹介をさせていただきます。

佐賀市長、坂井英隆様でございます。

続きまして、佐賀市議会議長、山口弘展様でございます。

続きまして、佐賀市農林水産部長、川副光行様でございます。

それでは、御来賓を代表いたしまして、お二方より御祝辞を頂戴したいと思います。

まず、坂井市長、よろしくお願いいたします。

3 来賓祝辞

○佐賀市長（坂井英隆君）

皆様、改めましてこんにちは。令和5年度の佐賀市農業委員会総会の御盛会を心からお喜び申し上げます。

農業委員の皆様、農地利用最適化推進委員の皆様、日頃から地域農業の発展のために、そ

して様々な御相談に乗っていただき、また、御助言や支援や、様々な地域に根ざした活動をしていただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げたいと思います。

人や農地をマッチングしていくということは、言葉で言うのは簡単であります、実際にこれを進めていくというのは大変な御苦勞があったのではないかなと思います。

農業を取り巻く現状は、高齢化が進んでおり、担い手も減少をしています。また、資材価格も高騰している中で、本当に農業を持続可能なものにしていく、また、次の世代に引き継いでいくためには、様々な課題を乗り越える必要があるかと思ひます。

やはり稼げる農業にしていくということ、これも非常に難しい課題でありますけれども、様々なハードルがある中、人材も育成していく必要があるということで、佐賀市としまして、そうしたお声をお聞きしながら、一つ一つの課題を何とか前に進められるように努めてまいりたいと思ひます。

担い手を育成していく、そしてまた、省力化・低コスト化していくという中で、様々な新しい機械なども出ているという中で、やはりコストの負担が重いか、そうしたものに触れる機会がなかなかないといったところで、スマート農業と言われたりしますけれども、そうしたものへの支援制度をより充実させたり、あるいは研究会を行っていったり、また、担い手の育成、こういったものにもぜひ力を入れていきたいと思ひている次第であります。

本日、懇親会に参加できるのを楽しみにしていましたが、予定が重なってしまいました。昨年の総会の際は、皆様からいろんなことを教えていただき、それが非常に参考になったと思ひておりますが、本日は代わりに副市長が参ります。副市長に伝わったことは私にもすぐ話があると思ひますので、ぜひ忌憚のない御意見を賜ればなと思ひます。

そして、今年度で退任をされる委員の皆様は、長年にわたる御尽力に心から感謝申し上げたいと思ひます。

本日御出席の皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。（拍手）

○司会（井手野修万君）

坂井市長ありがとうございました。

続きまして、山口議長お願いいたします。

○佐賀市議会議長（山口弘展君）

御紹介をいただきました佐賀市議会議長の山口でございます。

今日は、令和5年度佐賀市農業委員会通常総会が、このように大勢の皆様方お集まりをいただきまして御盛会のほど、誠にありがとうございます。

また、皆様方におかれましては、佐賀市農業発展のために日頃から御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げたいと思っております。

さて、農業委員会の委員の枠について、実は今から七、八年前まででしょうか、もっと前までだったでしょうか、我々佐賀市議会議員の中からも2名枠がありまして、実は私も農業委員を2年間させていただいたところがございます。

その頃に、佐賀市の政策で「50戸連たん制度」が始まり、多くの場所で農地を利用した土地開発「50戸連たん」が盛んになりました。今でも思い出すのは、農業委員会の中でも農地部会、そして、北部と南部に議員が1人ずつ分かれ、私は北部でしたが、三瀬から富士、それから、この辺りまで、佐賀市の北部地域を農業委員の皆さんと回らせていただき、よい経験をさせていただいたと思っているところでございます。

先ほど市長からもお話がありましたように、近年のこの農業を取り巻く環境というものは、ちょうど私が農業委員をしていた頃も同じようなことを言っておりましたが、さらに厳しくなってきた。これは、農業だけではなかなかもう飯が食えないというようなことで、若い担い手が育ってこないということはもちろんであります。最近ではやはり飼料、肥料の高騰によって、なかなか利益が取れないというようなところが農家にとっては大きな大きな問題ではなかろうかと思っているところであります。

それと、もう一つは、皆様方におかれましては、単純に農地の保全ということだけではなく、佐賀市としては、近年、立地適正化計画といって、佐賀市をどのような方向に進めたほうがよいのかということ、今検討を推し進めているところでありますが、農地の問題だけではなく、都市計画全体の問題になってくるという意味においても、この農業委員、また、最適化推進委員の皆様方にとっても、非常に大きな課題を担っていただくという意味では、皆様方の力が大変必要になってくると思っております。

先ほど話がありましたけれども、3月31日をもって任期3年が終わられる方も今日の場にはいらっしやと思っておりますが、本当に任期の期間中、大変お疲れさまでございました。3月19日、私どもの市議会が閉会いたしましたその日に、新たに令和6年度から農業委員となられる24名の農業委員さんに関しましては、議会承認が必要となります人事案件でありますの

で、市議会といたしましても満場一致で可決をさせていただいたということを、ここで御報告させていただきたいと思っております。

なかなか意は尽くせませんが、これからも佐賀市の農地、農業を守っていくためには皆様方の力が必要でございます。

ちなみに私は、本日の懇親会は参加をさせていただきます。ですから、どうか忌憚のない御意見をいただき、我々佐賀市議会といたしましても皆様方のバックアップ、当然今まで同様させていただく所存でございますので、忌憚のない御意見をいただければなと思っております。

結びになりますが、本日お集まりの皆様方の御健勝、御活躍、そして何より佐賀市農業委員会の益々の発展を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

本日は誠に御疲れさまでございます。本当にありがとうございます。（拍手）

○司会（井手野修万君）

山口議長ありがとうございました。

それではここで、来賓のお三方におかれましては、公務の御都合により退席されますけれども、総会終了後、18時から開催されます懇親会には、先ほど坂井市長からもお話がございましたけれども、市長は別の公務のために代わりに鈴木副市長が、そして山口議長、それから川副部長は再度御参加いただく予定となっております。

それでは、皆様拍手でお送りいたしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

お忙しい中、ありがとうございました。（拍手）

〔来賓退席〕

○司会（井手野修万君）

それでは、この後、議事へと進んでまいります。佐賀市農業委員会会議規程第6条第1項の規定で、「会長は、総会の議長となり、議事を総理する。」となっております。

そこで、ここからは大園会長に議長をお願いしたいと思います。

大園会長、よろしくお願いいたします。

〔大園会長登壇〕

○議長（大園敏明君）

それでは、農業委員会会議規程によりまして、これ以降の次第につきましては、私の方で進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

4 総会成立宣言

○議長（大園敏明君）

それでは、私の方から、次第4の「総会成立宣言」をいたします。

先ほど司会の方から報告がありましたように、本日の令和5年度佐賀市農業委員会通常総会の出席者数は、農業委員総数23名人のうち22名でございますので、佐賀市農業委員会会議規程第8条の規定に基づき、本総会は成立していることをここに宣言いたします。

5 農業委員会憲章の唱和

○議長（大園敏明君）

次に、次第5の「農業委員会憲章の唱和」を行います。

皆様、御起立をお願いします。

なお、農業委員会憲章の朗読については、吉田副会長にお願いいたします。

吉田副会長、前の方をお願いします。

○副会長（吉田和文君）

それでは、御指名でございますので、農業委員会憲章を朗読させていただきます。

議案書の1ページをお願いします。

農業委員会憲章

私たち農業委員会は、農業・農村を守り、その健全な発展に寄与するため、法令遵守と高い倫理観を持ち、農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となって、以下の憲章を遵守することを誓います。

- 一. 農業委員会は
農業・農村の代表として、
食料・農業・農村基本計画の実現に努め、
国民の期待と信頼に応えます。
- 一. 農業委員会は
食料の自給率と自給力を維持・向上させるため、
適正な農地行政に努め、
優良農地の確保と効率利用を進めます。
- 一. 農業委員会は

農地利用の最適化をめざし、
担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の
発生防止・解消、新規参入の促進に努めます。

一．農業委員会は

認定農業者や新規参入者等の意欲ある担い手の
育成・確保と経営支援を強化し、
農業・農村の持続的発展に努めます。

一．農業委員会は

暮らしと経営に役立つ情報の収集・提供に努め、
活力ある農業と農村社会をめざします。

以上でございます。ありがとうございました。

○議長（大園敏明君）

皆さん御唱和ありがとうございました。御着席願います。

それでは、議案書の2ページの次第に沿って進めさせていただきます。

6 議事録署名人の指名

○議長（大園敏明君）

次に、次第6の議事録署名人の指名となりますが、本日の議事録署名人には、議席番号7番の野田政光委員及び8番の山田敦委員の両名を指名いたしますので、よろしく願いいたします。

7 議 事

○議長（大園敏明君）

それでは、これより次第7の議事に入りますが、議事に入る前に皆様をお願いいたします。

佐賀市農業委員会会議規程により、議事に関し、質問がある方は挙手をして、私が指名しますので、農業委員については議席番号と氏名を述べてから発言してください。

また、農地利用最適化推進委員は、担当区域名と氏名を述べてから、その担当する区域における農地等の最適化の推進に関する事項について御発言いただくようお願いいたします。

それでは、議案書の3ページをお開きください。

第1号議案「令和5年度事業報告について」を議題といたします。

それでは、事務局から一括して説明をお願いいたします。

○農業委員会事務局長（福岡緑君）

事務局長の福岡でございます。

それでは、議案書の4ページ、5ページをお願いいたします。

令和5年度につきましては、先ほど会長挨拶でもございましたが、5月8日から新型コロナウイルス感染症の法上の分類が、2類から5類へと移行されたことなどにより、予定していた研修会などの事業について、ほぼ予定どおり事業を実施することができました。

それでは、(1)活動状況報告について、主なものを説明いたします。

まず、4月17日には、第1回目の常設審議委員会が開催されました。

この会議は、佐賀県農業会議の主催で毎月行われているもので、この審議委員会の委員として、本市からは大園会長が出席されております。

30アール以上の転用案件については、農地法の規定に基づきまして、「常設審議委員会」に意見を聴かなければならないとなっているため、これに該当する案件がある月については、事務局の職員がこの会議に出席しまして、転用案件の概要説明を行っているところでございます。

続いて、4月19日には、4月定例総会を開催し、以降、農業委員の皆様には、毎月の定例総会に御出席をいただき、各種申請案件などを審議・決定していただいたところです。

次に、4月21日には、最適化活動の点検・評価等について、農業委員及び農地利用最適化推進委員の第1回目の合同研修会を開催いたしました。

合同研修会については、年3回開催しておりまして、7月7日に「目標地図の素案作成」や「農業者年金の加入推進」などについて第2回目の研修会を開催し、令和6年2月5日には第3回目の合同研修会を開催し、昨年9月に市長へ提出しました「意見書」に対する回答について、佐賀市農業振興課及び農村環境課から、それぞれご説明いただき、意見交換などを行っております。

次に、5月25日に佐賀県都市農業委員会協議会の総会及び研修会が行われました。

この協議会は、県内10市の農業委員会の会長及び事務局長の20名で構成されており、10市の農業委員会での情報共有と、事業に対する調査・研究などを行う場となっております。

次に、7月27日には、農地利用最適化推進委員の先進地視察研修を実施し、長崎県南島原市農業委員会において、「農業者年金の加入推進」や「農地利用最適化推進活動」について

研鑽を積んでいただきました。

8月24日から25日にかけては、農業委員による先進地視察を実施しました。

1日目の福岡県宗像市農業委員会では、「非農地の運用状況や農業委員会サポートシステムの活用状況」などについて話を伺い、2日目には、福岡市中央卸売市場、糸島市のJA糸島産直市場「伊都菜彩」の視察を行いました。

次に、9月28日には、農業者との意見交換などで聴取した意見を、「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」として取りまとめ、佐賀市長へ提出いたしました。

続きまして、5ページをお願いいたします。

令和6年1月25日には、佐賀県農業会議の主催で、上峰町において県内市町の農業委員・農地利用最適化推進委員研修会が開催され、農業委員会の制度をめぐる情勢や地域農業の維持に向けての事例報告について貴重なお話を伺いました。

そして、本日3月22日でございますが、令和5年度通常総会となっております。

以上が、令和5年度の活動状況報告となります。

続きまして、議案書の6ページをお願いします。

(2)令和5年度役員会事業報告についてでございます。

役員会につきましては、会長、副会長、南北の調査会長及び調査会副会長の6名の役員の皆様方により、定例的に農業委員会の事業や運営に関する事項など、諸問題について協議をしていただいております。令和5年度は、合計で12回開催されました。

役員会で協議した事項については、6ページから7ページに記載のとおりでございます。

内容については、御一読いただければと存じます。

「役員会事業報告」については以上でございます。

○農業委員会事務局主幹兼農地係長（江口英二君）

次に、議案書の8ページをお願いいたします。農地係長の江口です。

私からは、(3)令和5年度総会等事業報告」について御説明いたします。

まず、「1 定例総会の開催状況」でございますが、本年度も合計で12回開催いたしました。開催日と件数は表のとおりでございます。

令和5年度は、報告と議案を合わせて、合計2,277件の御審議をいただいております。

なお、表の下に現地調査会及び調査会の開催数を記載しておりますが、南部現地調査会は10回、北部現地調査会は11回の開催でした。これは南部が4月と12月、北部が8月に現地調

査の案件が無かったことによるものです。

御審議いただきました内容の主なものにつきましては、その下に記載しております。

次に9ページをお開きください。

「2 農地法関係の審議」です。

(1)農地法第3条の権利移動の審議は合計で210件となっております。

(2)第4条及び第5条の転用の審議は、合計で178件となっております。

(3)第18条の合意解約の審議は203件となっております。それぞれ内訳を記載させていただいております。

次に、10ページをお願いいたします。

3の(1)は、利用権設定による貸し借りでございます。

表の左端に合計件数を記載しておりますが、本年度は1,384件の貸し借りがございまして、その内訳は表のとおりとなっております。

次に、(2)の利用権の移転につきましては、解約をせずに別の耕作者へ利用権を移転するものですが、本年度は案件がございませんでした。

その下の(3)所有権移転につきましては、あっせん売買の件数でございます。本年度は、買入が40件、売渡が49件でございました。

次に「4 非農地通知」です。令和5年度は既に山林・原野化している農地52件、約9.2ヘクタールに対して非農地通知書を発行いたしました。

次に、「5 農地無断転用防止」ですが、本年1月に発行した「さがし農業委員会だより」や、転用許可書などに同封したチラシ等による啓発とともに、委員さんによる農地パトロールや個別指導により、無断転用の未然防止と早期改善に努めていただきました。

続いて、11ページをお願いいたします。

「6 遊休農地対策」につきましては、本年度も委員の皆様には農地パトロールや遊休農地所有者に対する個別指導などを行っていただき、本年度末時点で遊休農地の面積は、昨年度から5ヘクタール減って94ヘクタールとなりました。

○農業委員会事務局主幹兼振興係長（徳永昌純君）

続きまして、私、振興係の徳永です。ここからは私の方から御説明させていただきます。

11ページの「7 農地等利用最適化推進施策に関する意見書の提出」についてでございます。

佐賀市農業委員会では、毎年度、農地利用最適化の推進を、効率的かつ効果的に実施するために、佐賀市の農業施策に対して、農業者からの意見等を踏まえた上で、農業委員会活動の中で得られた知見に基づき意見書を作成し、市長へ提出しております。

今年度の意見書につきましては、令和5年9月の定例総会での審議・決定を経て、令和5年9月28日に市長への意見書の提出を行い、令和5年11月8日に市長からの回答を得たところでございます。

続きまして、その下「8 さがし農業委員会だよりの発行」についてでございます。市内農家の皆様への農業委員会等に関する情報提供といたしまして、農業委員会の活動内容などを掲載しました「さがし農業委員会だより（第25号）」を、令和6年1月に発行いたしました。

次にその下、「9 贈与税及び相続税納税猶予並びに不動産取得税徴収猶予の取扱い件数」についてでございます。

今年度は、相続税納税猶予の新規届が1件、税務署の方にあっており、この届出書の添付に必要となる適格化証明書の発行を農業委員会で1件行っております。

次に、「10 家族経営協定の推進」についてですが、家族経営協定とは、家族で取り組む農業経営について、経営方針や家族一人一人の役割などを家族みんなで話し合い、それを明文化するものでございますが、今年度は、大和地区3件、富士地区2件、川副地区2件、本庄地区1件、蓮池地区1件の合計9件の家族経営協定が新たに締結されております。

これで佐賀市における家族経営協定締結の累積件数は247件となっております。

続きまして、12ページをお願いいたします。

「11 全国農業新聞の購読推進」でございます。

農業者への情報提供活動として、農業政策や全国各地の優良活動事例等が掲載された全国農業新聞の購読推進を、委員の皆様にも年間を通して行っていただきました。

令和6年2月末現在の佐賀市全体の購読部数は165部となっておりまして、委員皆様の推進活動のおかげを持ちまして、県内では第1位の購読部数となっております。誠にありがとうございます。

次に、「12 研修事業の実施」についてでございます。

「(1)農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会」につきましては、昨年4月と7月、本年2月に合計3回開催いたしました。

それから、「(2)先進地視察研修」についてですが、推進委員と農業委員の先進地視察研修につきましては、先ほど福岡局長からも御報告がありましたとおり、それぞれ7月と8月に実施をしております。役員会の先進地視察研修につきましては、視察先との日程調整が整わなかったために中止となっております。

続きまして、13ページをお願いいたします。

「13 農業者年金」につきましては、加入申込に関する届出や年金受給者の現況届など、合計1,105件の届出書等を受理し、処理をしております。

続きまして、右側の14ページをお願いいたします。

こちらの表は、地区ごとの年金受給者数や加入者数を掲載した一覧表となっております。

今年度は、新規加入目標人数10人に対しまして、目標を上回る14人の新規加入という結果でございました。委員皆様の熱心な加入推進活動に、この場をお借りして心からお礼申し上げます。

令和6年度も、引き続き加入推進活動の御協力をよろしくをお願いいたします。

それから、15ページをお願いいたします。

「(4)令和5年度グループ活動報告」について御説明いたします。

まず、「1 農業者年金グループ」についてですが、令和5年4月19日から令和6年3月18日までに、計5回のグループ会議を開催いたしました。

4月の第1回グループ会議では、農業者年金グループの活動計画等について、7月の第2回の会議では、農業者年金加入推進の具体的な取組内容などについて協議していただきました。

その後、10月、2月、3月にもグループ会議を開催し、佐賀市における農業者年金の加入状況等について協議していただき、今年度も農業者年金の加入推進を図ることにより、市内農業者の老後の生活安定等に向けた取組を行っていただきました。

続きまして、16ページをお願いいたします。

「2 広報グループ」についてでございます。令和5年4月19日から令和6年3月18日までに、合計6回のグループ会議を開催いたしました。

4月の第1回グループ会議では、広報グループ活動計画等について、それから、7月の第2回会議及び8月の第3回会議では、市長への意見書に関する協議などを行っていただきました。

広報グループでは、このほかに「全国農業新聞の購読推進」に関する協議や、「さがし農業委員会だより」の発行を通して、市内農業者の皆様へ佐賀市農業委員会の活動内容及び、地域の若い担い手や農業者年金加入者の紹介などの情報提供を行いました。

○農業委員会事務局長（福岡緑君）

以上、令和5年度の各事業の報告について、事務局からの説明は以上でございます。

農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆様におかれましては、御多忙の中、毎月の定例総会や研修会への御出席をはじめ、農地利用最適化活動や、農地のあっせん、農業者年金の加入推進、全国農業新聞の購読推進など、幅広く御尽力をいただきました。事務局を代表いたしまして、心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

事務局からの説明は以上でございます。

○議長（大園敏明君）

御説明ありがとうございました。

それでは、第1号議案について質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大園敏明君）

質疑なしと認め、質疑を終結し、これより採決いたします。

第1号議案「令和5年度事業報告について」、報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大園敏明君）

異議なしと認めます。よって、第1号議案「令和5年度事業報告について」は、報告のとおり承認されました。

続きまして、議案書の17ページをお開きください。

第2号議案「佐賀市農業委員会農地利用最適化推進委員の選任について」を議題といたします。

それでは、事務局から説明をお願いします。

○農業委員会事務局長（福岡緑君）

それでは、議案書の18ページをお願いいたします。

農地利用最適化推進委員につきましては、農業委員会等に関する法律第17条の規定に基づ

き、農業委員会が委嘱することとされております。

そこで、農業委員会では、昨年9月に公募を行い、市内19地区の生産組合協議会などから推薦のあった39人に対して、昨年10月17日に農業員会会長など4人の選定委員による選定審査が行われ、その結果、39人の推進委員候補者が選定されました。

議案書18ページに記載しております、39人の方々の農地利用最適化推進委員の選任につきまして、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大園敏明君）

説明ありがとうございました。

それでは、第2号議案について質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大園敏明君）

質疑なしと認め、質疑を終結し、採決いたします。

第2号議案「佐賀市農業委員会農地利用最適化推進委員の選任について」、原案どおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大園敏明君）

異議なしと認めます。よって、第2号議案「佐賀市農業委員会農地利用最適化推進委員の選任について」は、原案どおり承認されました。

ここで皆様にお諮りします。

「令和5年度佐賀市農業委員会通常総会」の議事録について、その字句、その他の整理を要するものについては、その整理を農業委員会会長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大園敏明君）

異議なしと認めます。よって、「令和5年度佐賀市農業委員会通常総会」の議事録について、その字句、その他の整理を要するものについては、その整理を農業委員会会長に委任することに決定しました。

以上をもちまして、議事の全てを終了いたしました。

「令和5年度佐賀市農業委員会通常総会」を閉会いたします。皆様、ありがとうございます。

した。(拍手)

○司会(井手野修万君)

大園会長、議事の進行ありがとうございました。

午後4時42分 閉会